

主将として

長岡 恭平

この度、男子主将になった長岡恭平です。よろしくお願ひします。僕が「主将として」を書く時が来るなんて、時間が経つのは早いなと感じながらこれを書いています。就活の関係で部活に出られないことも多々ありますが、木村君をはじめ同期や副将にサポートしてもらいながら日々活動しています。今回は、僕がいま部活に対して感じていることを書いていこうと思います。ちょっと偉そうなことを言ってしまうかもしれませんがご了承下さい。

最近、というか主将になってから部活について考えることが多くなりました。これから部活をどうしていったらいいのか、今のやり方でいいのか、などを考えるわけですが、一向に答えが出るわけでもなく試行錯誤しています。しかし「部」としての目標、目的は、やはり試合に勝ち、結果を出すことなのではないかなと考えています。最近の部の傾向として、まとまりや一体感が少しかけているように感じます。もちろん各々の目標であったり、部活をやっている目的はあると思うのですが、それを第一にしすぎている人が多いのではないのでしょうか。かという僕も以前まではそういった考えでした。自分がよければ：俺が練習しなくても困るのは自分だし：と置いていた時もありました。しかし学年があがって、立場も上になつてくるにつれてそれじゃダメなんだ、チームとして機能していかな

いんだということに気付きました。今ではそう思っていたことを後悔しています。せっかくたくさんのサークルなどがある中、学友会のバドミントン部を選んだのですから、いま部活でしかできないことは何なんのかを考えてほしいと思います。僕個人の考えですが、部活は同じ目標に向かって頑張るチームであり、一つの集団だといまは思っています。四年間の中で悩みがきたり、モチベーションが下がったりすることは誰でもあると思いますが、そうしたときに支えあったり刺激を受けることができるようなチームを目指していきたいと思っています。勝つことが全てとは決して思っていないかもしれませんが、勝つという目標に対して一生懸命に努力することによってはじめてその過程がいいものだったと思えるのではないのでしょうか。

先ほどの話に関連してもう一つ。部員のみんなには「立場」というものを大事にしてもらいたいなと思います。いまの部活はみんな和気あいあいとしていて、仲がいいのはとてもいいことだと思えます。しかし練習中にもその雰囲気が残っているのかなと感じる場面が見られます。メリハリをつけて緊張感のある環境で練習できれば効率も良くなると思います。下級生にも気を付けていただきたいのですが、それよりも上級生に考えてほしいと思います。ありがたい話ですが、下は上をみて覚えるのです。上級生がまず手本になつて行動しなければ、なにも変わらないと思います。そして行動したうえで、後輩たちに教えていってあげてください。最上級生じゃなかったって、主将や副将じゃなかったって、気付いたところから改善して

いく。そういった役割があることを上級生は頭の隅に置いておいてください。仲がいいけどメリハリのある部活は一体感を作るには必要なことかと思えます。

いろいろと言ってきましたが、僕自身が最後のものもありますが、レギュラーだけでなく、全体の層の厚さとして今年リーグにしろ、七大にしろ、チャンスの年だと考えています。今年から東北リーグでBチームも出るようになったのですが、あんなに頼もしいBチームはなかなかないと思います。だからこそ皆さんにはもう少し自信をもってもらいたいです。少しでもレギュラーの人たちが気を抜いていたり、弛んでいたらすぐにでもその座を奪い取るくらいのハングリー精神を持ってくれたらもっと活気づくのではないのでしょうか。人それぞれ学校やバイト、研究室で忙しく、部活にこられなかったりするかもしれません。しかし部活に來られないからといって練習ができないわけではありませんよ。最悪体育館なんて8時から空いているし、ランニングや筋トレは家でもできます。無理してやれとは言いませんが、本当に勝つためには必要なことかもしれない。僕たちが勝とうとしている相手はたとえいまそんなに練習していません。中学、高校のときに何倍もの練習をしているのです。がむしやらにやることは、恥ずかしいことはありません。やらずに後悔するなら、やって後悔しませんか。こんなにバドミントンを頑張れるのはよほどのことがない限り、大学生が最後です。今一度

皆さんには、自分がどうして部活に入ったのか、チームの一員としてどう活動していくかを考えてほしいと思います。

七大戦では今年こそ優勝を目指していきますが、そのためにはやはりチーム全体としてレベルアップする必要があります。僕も思っています。東北大のバド部は人数が多いです。大変な面もありますが、うまくいけば大きなメリットになるでしょう。いろいろなパターンの人と練習できるし、見習うこともできる。だからこそ先輩たちとはたくさん打ちましよう。強さに関わらず、自分より多くの経験をしている人たちです。一つでも多くそういった人から吸収するといった気持ちを忘れないで下さい。アドバイスをたくさんしてもらい、自分にあわないと思ったらそこで初めて聞き流せばいいのです。いつまでも仲間内だけでやっているとは強くなれませんよ。そういったこともあり、僕はチーム全体の向上を目標に活動していきます。

長々と書いてしまいましたが、まとめるとチームだということを忘れないでほしいということです。部内のつながりや関係性を大事にしてください。そしてよく先輩方が言いますが、多くの時間を部活に割いているので後悔のしないように頑張ってください。引退するときにこのチームで、このメンバーでよかったと思えるようにあと7か月間活動していきましょう。

最後まで読んでくださりありがとうございました。